

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	山梨大学	整理番号	F04
プログラム名称	グリーンエネルギー変換工学		
プログラム責任者	川村 隆明	プログラムコーディネーター	内田 裕之

(評価決定後公表)

(総括評価)

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、グリーンエネルギー4分野（燃料電池分野、太陽エネルギー分野、エネルギー変換材料分野、新エネルギー工学分野）を融合したプログラムが確立され、各分野の研究指導体制ができており十分評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、産官学から多くの外部機関が参画したカリキュラムが確立され、インターシップ等を通じたグローバルな教育や産業界との交流会も充実しており、修了者のキャリアパスの具体的なイメージが形成されつつあると評価できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、海外の著名研究機関とのグローバル協働教育ネットワークが形成され、国際セミナー、国際ワークショップの企画運営に学生が主体的に参画するなどの点で十分評価できる。

優秀な学生の獲得については、ほぼ定員を満たしており、また留学生比率も計画通りである点では評価できるが、国内からの進学者の大半が自大学からであり、多様な背景を持つ優秀な学生獲得という観点からも、国内他大学からの進学者を増やすという今後の努力が求められる。学生への経済的支援については十分行われていると評価できる。

世界に通用する確かな質保証システムについては、3段階（中間審査、博士適性審査、学位審査）の学位審査体制が構築され、審査委員として連携機関からも参画するなど確かな質保証システムが構築されていると評価できる。

事業の定着・発展については、推進・運営委員会、自己評価委員会、外部評価委員会が設置され学長を中心としたマネジメント体制が構築され、PDCAサイクルも実施されており事業の定着については十分評価できる。事業の発展については、本プログラムを取り込んだ大学院の改組や山梨県との連携などの計画がなされているが、その具体化のための一層の努力が求められる。